

平成 28 年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会

— 第 2 回理事会議事録 —

日時：平成 28 年 11 月 11 日（金）

午後 2 時～4 時

会場：県立みなみのかぜ支援学校

I 開会行事

(1) 本日の内容、配布資料確認

I 開会行事
II 協議
(1) 平成 28 年度知的部会研究大会実行委員会
①平成 28 年度知的部会研究大会反省
②平成 29 年度知的部会研究大会について
(2) 平成 30 年度九特連「宮崎大会」実行委員会
①実行委員会組織図について
②分科会提案発表について
③平成 31 年度以降提案発表ローテーションについて
III 連絡
(1) 各係より
(2) その他
IV 閉会行事

(2) 会長あいさつ：橋本会長

将来への展望等・・・力をかしていただきたい。

II 協議

(1) 平成 28 年度知的部会研究大会実行委員会

①平成 28 年度知的部会研究大会反省（別紙資料）→児湯るぴなす：原田 T

・アンケート集計結果を読んだ後、補足等

☆研修会で机がない、作品広場での写真 NG 等は、次年度提案部分で検討している。

☆前日準備や当日準備など無駄な時間が多いなど反省が上がっているが、昨年度より 1 回回数
は減らしている。前年度のスタッフアンケートについて、もう一度見直したり、今年度のス
タッフにも配布しておけばよかったと考えた。

②平成 29 年度知的部会研究大会について（別紙資料）→くろしお支援：佐藤 T、宮崎中央支援：湯浅 T

・日程 H29 年 7 月 29 日（木） 9：50～15：40 会場：宮崎市

・内容 外部からの講師招へいはせず、より具体的な実践内容の報告提案を行う。

・質疑、その他参考意見

Q. テーマ設定の理由の部分より

「具体的な合理的配慮」についてはどの部分でおさえていくのか。

→それぞれの学校種の立場から話をしていただく予定。講座 1 で概要と具体的な事例につ
いて伝えてもらう予定。

Q. テーマの文言について整理が必要では？

担当者、事務局で再考して第3回理事会で再提案。

☆人数制限について、夏休みならば参加できる先生もいるので検討いただきたい。

現状では、会場のキャパシティの問題もあり厳しい。

200人を超えそうなときのスタッフの椅子のみの対応など、再検討。

Q. 教材、書籍ひろば 支援学校の説明担当者は、理事が兼ねるのか？業務が重ならないか？

当日の係分担を、教材の説明が可能となる配置にして、基本的には理事にやってもらう予定だが、難しい場合その他、各学校の参加される先生の中で調整していただいてもよい。

しろやま支援はお弁当担当のため、別の参加者からでもよいのではないかと。自分の教材ではないものの紹介となり負担だと思うが、各学校でできる範囲での説明で可。

Q. 書籍の紹介はどのように行うのか？

先生方が良いと感じた書籍で。。インターネットの使ってみてよかったサイトの紹介等でも。

☆1次案内、2次案内の配布について。

県特研連の小中理事が集まる会が2月と5月にあるので、その時がよいのではないかと。

その他、配布のアイデアがあれば教えていただけるとありがたい。

☆会長より

知的部会に入っているメンバーの資質を高めることができる研究大会である。みんなの専門性を高めていくことができ、みんなで作っていける研究大会にしていけるとよい。

(2) 平成30年度九特連「宮崎大会」実行委員会→みなみのかぜ九特連事務局

※①と②入れ替えて説明

②分科会提案発表割り当てについて（別紙資料あり）→事務局：森本 T

小中学校・・・都北・西諸ブロック、児湯ブロック、日向・東臼杵・県北ブロック、宮崎ブロック

→どの分科会になるかは、小中特研事務局にて検討して第3回理事会までに回答をいただく予定。

支援学校・・・都城きりしま小林校、児湯るびなす、日向ひまわり

→どの分科会になるかは、管理職を含めて検討してできるだけ早くに決定する予定。

①実行委員会組織図（案）について（別紙資料あり）→事務局：柴下 T

宮崎大会は、今後3つの役割分担で進めていく予定。実行委員の先生方の現段階で考えている役割分担については、別紙のとおり。

提案発表をする地区を分科会の運営を担当する研修部、また、提案発表をする地区ブロックの方を記録が中心となる編集部への配置を検討している。

③平成31年度以降提案発表ローテーションについて（別紙資料あり）→事務局：西山

宮崎大会での提案発表の関係で、第1回理事会で配布している資料から大幅に変更となるため、ご確認ください。

来年度の大大大会の発表者の報告は、年度明けすぐになる予定。できれば第3回理事会時に教えてほしい。

Ⅲ 連絡

- (1) 各係より
- (2) その他
事務局

今回も、残念ながら連絡なく欠席の地区もある。第3回理事会はすでに行事が重なっており欠席の連絡をいただいているところもあるのだが、可能な限り代理を立てていただくなど確実に次年度へ引き継いでいただける体制づくりをお願いしたい。

Ⅳ 閉会行事

- (1) 副会長あいさつ：坂本副会長

本年度までの2年間、るぴなす支援学校で研究大会の担当をしてきた。来年度の研究大会からくろしお支援の担当となるが、これまでの課題等を再検討しながらがんばってほしい。

支援学級のブロック地区の交流等へ行くと小中学校の特別支援学級担当の先生方がたくさんいらっしゃるなど感じる。その先生方にとって有意義な研修が行えるとよい。今の時期から、この会の情報を積極的にホームページ等で伝えるなどの工夫もしていくとよい。